

令和2年度事業報告

<情報提供事業>

○楽しい子どもニュース「アッタくん」の発行

毎月発行で179号から188号まで計10回発行した。(緊急事態宣言発令に伴い、5,6月号の発行なし) イベントの告知や報告だけでなく、スタッフの紹介を載せたり、地域で活躍されている方やB-Net子どもセンターに関わる地域の方々を紹介したりすることができた。

現在、町内2つの小学校(酒々井小学校、大室台小学校)、スーパー(ナリタヤ、SEND0、タイヨー)やJR酒々井駅、公共施設(酒々井役場、酒々井町中央公民館、プリミエールなど)、社会福祉協議会、みんなの居場所KOKO、順天堂大学などに配布させていただいている。

内 容	実施日	収 入	支 出	
情報紙 楽しい子どもニュース 「アッタくん」の発行	毎月1回1500部発行 (3月のみ300部)	0	情報紙用紙代	19,960
			印刷代	21,785
	合 計	0		41,745

○ホームページの運営

内 容	実施日	収 入	支 出	
インターネット	随時	0	アサヒネット	56,720
	合 計	0		56,720

○B-Net 掲示板

B-Net子どもセンターのフェンスに設置しているB-Net掲示板を活用し、イベントの告知や町のイベントのポスターを掲示した。B-Netの活動に参加して下さっている子どもの保護者だけでなく、地域の方々に情報を提供することができた。今年はポスターをほぼ毎回のイベントで作成し、広報活動に力を入れた。また、町のイベントのポスターの掲示も積極的に行い、情報提供事業の役割を果たしている。

<子育て支援事業>

子ども教室「アッタくん」やイベントに参加する子どもたちから、年間登録料として2,000円（子ども教室運営費1,200円、年間保険料800円）を徴収した。登録者数は12人であった。保険はスポーツ安全保険で、活動中、通常経路往復中の事故に対応し、保険期間令和元年4月1日から令和2年3月31日まで適用され、保険加入者数は12人であった。

		収入	支出
B-Net 登録人数	12人	24,000	
スポーツ安全保険加入	12人		9,600
スポーツ安全保険加入スタッフ	26人		45,500
合計		24,000	55,100

§ 自然体験・文化体験・宿泊体験

平成23年から小学校で新たな学習指導要領が導入された。2年度もB-Netもその中に記載されている「生きる力」の育成を目指し、様々なイベントを行うことを予定していた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くのイベントを実施することができなかった。そのような状況下でも、稲刈り、芋掘り、クリスマスイベント、スポーツイベント、スペシャルアッタくんは行うことができた。その際には、新たな気づきや知識を得られる内容のイベント企画運営を行なった。本事業を通し、子どもたちの中に何かしらの成長や感情を残していけたらと、子どもたちとの関わりの中で感じられた。また、スタッフも子どもたちや地域の方々との関わり、イベントを企画運営する考え方の習得等、貴重な経験を通し、成長を得ることができる重要な事業であった。

9月稲刈り、10月芋掘り、12月クリスマスイベントに関しては子どもゆめ基金から助成金をいただくことができた。

《子どもゆめ基金助成金事業》

内容	参加人数	収入	支出	収支
9月22日 稲刈り 酒々井コメリンピック2020 場所：根古谷	参加小学生 8人 保護者 2人 スタッフ 12人 根古谷 5人	46,263 3,200	60,122	-10,659
11月3日 芋ほり 秋だ！お芋博士の出陣だ！ 場所：西井戸	助成金 参加小学生 14人 保護者 3人、幼児 2人 スタッフ：16人 里山フォーラム：5人	27,377 10,350	38,227	-500
12月19日 クリスマス 作って遊ぼう！In クリスマス 場所：公民館	助成金 参加小学生 10人 保護者 1人、幼児 1人 スタッフ：14人	22,221 6,560	28,781	0

B-Net 子ども教室アッタくん 夏休み、冬休み、春休みを除く、 毎週木曜日 16回	助成金 登録人数 12 人 スタッフ平均：4 人	149, 190 24, 000	189, 586	-16, 396
	子どもゆめ基金合計 参加費、保険料など	245, 051 44, 110		

※収入の上段は子どもゆめ基金からの助成金（星空合宿、B-Net 子ども教室アッタくんは確定されていないので変更有り）。下段は参加費、保険料などである。

《それ以外の事業》

内 容	参加人数	収 入	支 出	収支
10月17日（土） スポーツイベント 場所：公民館	参加小学生 8 人 スタッフ 13 人	2, 900	500	2, 400
3月13日（土） スペシャルアッタくん 場所：総合公園	参加小学生 14 人 保護者 1 名、幼児 2 名 スタッフ 16 人	5, 520	4, 348	1, 172

○ B-Net 子ども教室 アッタくん

本年度の B-Net 子ども教室は「放課後に子どもたちが安全に、そして安心して遊べる“居場所”をつくること。また、子どもたち自身でルールを考えて遊びを展開することで、創造性や協調性を養う」ということを目標に活動を行ってきた。近年、大幅な登録人数減少が課題とされ、今年度は情報誌にアッタくんの参加募集を載せるなどの対策を試みたが、一年間を通して参加人数は平均 8 人ほどであった。参加してくれた子どもも毎回ほとんど同じメンバーであったが、学年に関係なく互いに協力し、助け合いながら楽しく活動していた。また、子ども同士で声を掛け合い、屋内で過ごすことの多い子どもが外で遊ぶことが増えたなど子どもたちの間で厚い友情関係が生まれ、参加人数が少ないからこそ良い面もあった。また、ハロウィン、クリスマス、火起こし、バームクーヘン作りなど子どもたちの興味関心に合わせ、学生スタッフが企画して行った。

B-Net 子ども教室アッタくんでは、小学生と大学生、さらに地域の方々という普段の生活ではなかなか関わるできないような交流を実現している。子どもたちにとって先生とも、親とも違った、お兄さん、お姉さんと遊ぶことや地域の方との交流は新しいことの連続であり、いい刺激を与えられているのではないか。また、学生にとって本事業を通し考え、学ぶことは多く、多くの地域住民からのご協力のもと、日々努力することができ、それによって活動を展開することができた。

毎週木曜日放課後から 17 時まで 16 回運営。年間約 129 人参加

場所：B-Net 子どもセンター 平均：8 名参加（令和 1 年度は平均 8 名）

《活動写真》



○新・放課後子ども総合プラン 酒々井町放課後子ども教室

新・放課後子ども総合プランとは放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、各区市町村において、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業のことで地域の方々からのご協力を得て、勉強やスポーツ、文化活動を行い、他学年の児童や地域住民との交流などを目的とした活動である。

平成19年10月から酒々井町で放課後子ども教室事業が始まった。平成20年より町から委託され、企画・運営を行ってきた。

放課後子ども教室には地域で子どもを育てる社会教育の役割がある。地域の方を中心とした安全監視指導員と学生スタッフの併存した教室運営により、社会教育に厚みをもたせ、保護者、児童どちらのニーズにも広く対応することができた。さらに、今年度も地域の方々にたくさんの教室を開いていただき、充実した体験活動を提供することができたと思う。

しかし、2年度は新型コロナウイルスの影響で10月～12月の3ヵ月のみでの実施となった。また、大室台小学校では、酒々井中学校の体育館耐震工事に伴い、体育館を使つての実施ができず、雨が降った場合は、大ちゃんルームのみでの実施になることを踏まえ、1、2年生限定で行った。

今後も子どもたちに様々な体験・経験をしてもらえるよう、またより充実した放課後の時間の提供に尽力し、さらに安全に配慮しながら運営していきたい。

【活動日時・場所】

●酒々井小学校（主に体育館・ランチルーム・多目的ルーム）

毎週火曜日放課後～午後5時まで（10,2,3月は16時30分まで。11,12,1月は16時まで）

●大室台小学校（主に体育館・大ちゃんルーム・校庭）

毎週月曜日放課後～午後5時まで（10,2,3月は16時30分まで。11,12,1月は16時まで）

小学校	内 容
酒々井小学校	開催日数 9回、参加人数のべ272人 折り紙教室、造形教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、手作りアクセサリー教室、
大室台小学校	開催日数 7回、参加人数のべ253人 卓球教室、折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、

例年2月に放課後子ども教室参加者(子ども、保護者、教職員、指導員)を対象にしたアンケートを実施していたが、新型コロナウイルスの影響で12月以降放課後子ども教室が実施することができず、アンケートをとることができなかった。また、4月中旬に酒々井小学校、大室台小学校両校の教頭先生、酒々井町役場子ども課の方々、スタッフの代表数名で2年度の反省と3年度への改善点などを話し合った。

<町づくり等事業>

○B-Net 子ども食堂

昨年度に引き続き今年度も、B-Net 子ども食堂を B-Net 子どもセンターを開催場所として行った。実施の背景として、近年の子どもの貧困化、それによる子どもの孤食問題がある。これらの問題の解決のため 2012 年より、子ども食堂は全国で急激に増加しており、子どもの貧困問題は酒々井町も例外ではない。しかし、酒々井町に子ども食堂はなかった。そこで、酒々井町の貧困層の子どもたちに温かく人と食べる食事を届けるべく、B-Net 子ども食堂を実施した経緯である。

実施日が原則第 1・3 金曜日の月二回とし、祝日は休みとした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、おうち時間が増えたことで、少しでも家庭の負担を減らしたいという思いから、5～7 月は毎週金曜日実施を行った。また、実施形態は原則テイクアウトの形を取り、密にならないように心掛けた。食事代は、子どもは無料、大人は 200 円からとした。

今年度は、キューピーみらいたまご財団により、10 万円の助成金を頂くことができた。また、さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンターをはじめとする地域の方々から、お米や食材の提供をしていただくことができた。今年度は、地域の方の割合も増え、少しずつ酒々井町の人々への認知が広がってきたのを感じた。しかし、本来の目的である、必要とする子どもへの食の提供がなされているかどうか分からないのが現状である。見ただけで確認することは非常に困難であり、必要とする子どもたちに B-Net 子ども食堂の情報を確実に届けていくことが課題としてあげられる。

次年度も酒々井町の子どもに安心して温かいご飯を食べることのできる一つの場所となるように B-Net 子ども食堂を続けていきたい。

- 6月5日 寄付金 倉谷様 10万円
- 7月10日 キューピー未来財団助成金 10万円
- 7月10日 寄付金 村山隆様 2,000円
- 10月2日 社協を通して、寄付金 14,025円 (匿名)
- 12月19日 社会福祉協議会歳末助け合い助成金 30,000円
- 8月5日 てはーとホールディングス(株)「めりいさんのお店」から、越後餅(1kg×5袋)10箱
シチュー(4袋入り)10箱、帝国ホテル レトルトスープセット (6箱入り) 20箱
- 8月21日 社協から、越後山崎味噌 10kg×2箱、石鯰 10個入×4箱
- 8月28日 成田社会福祉協議会を通じてユナイテッド航空会社様より冷凍小籠包：2袋、ホイップバター：40個×2箱
- 9月13日 中川の青木様からお米 精米、玄米合わせて 120kg
- 9月25日 高橋美紀様からお米 10kg
- 10月8日 成田社会福祉協議会を通じてユナイテッド航空様より、冷凍唐揚げ 30袋(600個)、冷凍焼売袋(60個)、冷凍ライムギパン 4袋(40個)、冷凍ミニロール 20袋(120個)、スーパーブレンドビスケット 10袋、ホームパイ 7袋、キャンディ
- 12月4日 寄付 お米 10kg 伊藤守也様
- 1月29日 成田社会福祉協議会を通して、ユナイテッド航空様から、冷凍スペイン風オムレツ 8個入×4箱、から揚げ 18袋、ウインナー500g×11袋、コメ 30kg、醤油 2本、そうめん 1kg
- 1月29日 なのはな生協さんから、小松菜 30袋、ホウレンソウ 30袋、キャベツ 4個、ミニ白菜 40個

令和2年度の子ども食堂の状況

回数	子ども	大人	合計	食事代	スタッフ
31回	324人	353人	677人	134,568円	199人

収入合計 380,593円	支出合計 380,463円
助成金 130,000円	食材費 356,568円
寄付金 116,025円	クリスマス 16,512円
食事代 134,568円	消耗品 7,383円

○エコトピア酒々井（特別養護老人ホーム）での健康体操教室

実施日	活動内容
第122回 11月26日(木) 10:30～11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル体操 ・手あそび唄 ・手足の運動をふまえたゲーム ・風船バレー ・季節に合わせた歌の合唱 など

エコトピア酒々井で例年毎月1回のペースで健康体操教室を行ってきた。しかし、新型コロナウイルスの影響で11月のみの実施となった。その際には、20名程度の利用者・入居者のお年寄りの参加があり、タオル体操、手あそび唄、手足の運動をふまえた季節ごとのゲームや季節に合わせた歌の合唱を行い、明るく楽しい教室を展開することができた。また、スタッフは検温やフェイスシールドを使用するなどして、感染対策を行った。今後も道具や準備物、内容もさらに工夫して「心と体の健康」を増進していくプログラムを考えていきたい。

○イオン黄色いレシートキャンペーン（成田イオン）

黄色いレシートキャンペーンとは、イオンデー（毎月11日）にイオンで買い物をする際に出る黄色いレシートを登録している団体のボックスに投函すると、総額の1%がその団体に贈られるというものである。新型コロナウイルスの影響で、店頭での活動は1度も行うことができなかった。しかし、9月に2年度前期分8,901円いただき、翌年度4月に後期分8,400円をいただいた。前期分はアッタくんでの遊び用具を購入し、後期は文房具などを購入した。

○フェンスの修理

隣の交番との境のフェンスに、ボールが外に行かないようにネットを張るための支柱をフェンスに括り付けていたため、土台のブロックが壊れたと警察から指摘された。フェンスは酒々井町役場のものであり、B-Net 子どもセンターの入っている賠償で修理した。 274,000円